

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	スポーツ振興一般事務管理事業			会計	款	項目	大事	小事
				01	10	06	02	01
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	スポーツ振興課			
施策	3-5	スポーツ活動の基盤づくり		主管課長	寺門 宏晋			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	スポーツ振興を効率的に進めるための事務管理。
事業内容	生涯スポーツ振興の事業を行うための事務管理事業。			
事業開始から現在までの状況変化	経費を節減しつつ事務執行を行う。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		2,168,862	1,939,949	1,954,287			
事業費(b)(円)		1,123,012	1,030,749	948,887			
うち一般財源		1,123,012	1,030,749	948,887			
職員給与費(c)(円)		1,045,850	909,200	1,005,400			
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10			
人役・再任用(人)		0.01	0.10				
人役・臨職(人)		0.30		0.30			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	会議資料の作成については、コピーの使用を削減するなどの改善を進める。	③取組における課題(Check)	一層の効率的な事務の執行を行い、事務管理費を抑制する。
②H30に実施した取組(Do)	会議資料については、コピーの使用を抑制した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	両面印刷を励行するなど、印刷枚数を抑制する。